

飯南高校 PTA News Letter

No.11

WISH

2017年3月1日

発行：飯南高校PTA 広報委員会

島根県飯石郡飯南町野萱800 〒690-3401

Tel. 0854-76-2333 Fax. 0854-76-2344

URL <http://iinan.ed.jp>

特集

平成 28 年度 人権・同和教育「PTA活動」
の取組を振り返って

三年生 卒業おめでとうございます



ごあいさつ

飯南高校PTA会長 門 眞一郎

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さんおめでとうございます。

子どもたちには、保護者の一人として、生まれてきてくれて、今日まで一生懸命生きつづけてくれたことへ深い感謝をこめて「ありがとう」と言いたい。そして、立派な大人となって社会の中で活躍してくれることを願います。

PTA 会長として、保護者の皆さんや教職員の皆さん、生徒さんの協力を得て、今日を迎えることができました。ありがとうございます。

今年度は、町と教職員の皆さんの熱意により 10 月からホストファミリー制度が実施され、県外から入学した寮生と地域の皆さんの交流がスタートしました。

3 年前の半夏祭りの夕刻に、たこ焼とりんご飴を買って、19 時 30 分の門限を気にしながら帰っていく寮生を切ない思いで見送りました。里親が居れば一緒に祭りを楽しめるのにと、その時感じました。この制度が、地域と生徒をつなぐ絆になるよう期待し、皆さんのご協力をお願いします。



個性と人権教育

飯南高等学校校長 吉 田 彰 二

本年度から2年間、保護者の皆様には県の人権・同和教育「PTA 活動」育成事業に取り組んでもらっています。本会報で人権に関わる特集を組んでいただいたり、「子どもの個性・特性の理解」を内容とした人権講演会の開催などをしていただきました。これらの保護者の皆様の積極的な取組に対しまして、心より感謝いたします。

本校PTAの事業主題である「個性の尊重」は、本校の人権・同和教育研究指定校としての研究主題とも重なっています。個性は、それを大切にする土壌があって育ちます。田んぼの土壌が良質であれば良質の稲が育つように、生徒の個性（稲）が育つには、生徒が属する家族や学級・学校（土壌）が鍵を握ります。

子どもたちは、自分の個性を大切にされた経験を通して、他人の個性を大切にしようとする態度や意欲を身につけていくと思います。良い土壌づくりには、家庭でも学校でも、個性を大切にされた経験を持たせることが大切だと思います。個性を尊重するとは、もちろん我が儘をさせることなく、個性に寄り添った適切な対応のことだと捉えています。

今、学校は、生徒のアクティブな学びを取り入れた授業（アクティブ・ラーニング）への移行を促されています。他人の考えを尊重し意見を交わし、共に納得できる解を見つけ出すことは、まさに人権教育のそのものでもあり結果でもあります。

人権教育は、家庭での会話や行いの中、学校でのあらゆる場面で行われなくてはなりません。良質の土壌づくりに家庭と学校とが協力して取り組み、環境を整えることによって、一人一人が立派に成長し、たくさんの稲穂を実らせてもらいたいと思います。



平成28年度人権・同和教育「PTA活動」の取組を振り返って

本年度、PTAは「個性の尊重」に着目し、子どもたちが自らの個性や特色を自覚し、認め合う姿勢を養うために、保護者が行うべき支援のあり方を考える育成事業に取り組んできました。本年度の取組について、PTA研修委員を中心に、先生方にもご参加いただき、意見交換を行いました。

- ・開催日 平成29年1月19日
- ・参加 保護者6名 教員4名

◎人権・同和教育「PTA活動」意識調査アンケート（平成28年6月実施、10月「WISH No.10」にて結果報告）



アンケート結果をもとに、子どもの個性や特性、家庭・学校・地域での子どもの生活や、人権意識を育むコミュニケーションのあり方について、意見を交換しました。

～意見・感想・今後の取組みについて（抜粋）～

- 「お子さんの個性や特性を把握していますか」という質問に、多くの保護者さんが「把握している」と回答されていて、良い傾向だと思う。
- 「家族で人権について話し合ったことはあるか」という質問について）多くの家庭で、一緒にテレビを見たりしながら自然と人権について話ができていると思う。

- 子どもが取り組んでいるスポーツの応援に行ってみたり、保護者もしているスポーツならば一緒に練習したり、話をしたりして、親子のコミュニケーションをとるようになればいい。
- 子どもがいろいろなことに挑戦してみて、自分にあつたものを探せることが大切。
- 親は、家庭の中での子どもの姿しか知らない。大きくなるにつれて学校での生活も分からなくなってくるので、機会があれば、子どもが家庭の外で生活する姿を見にいけないことだと思ふ。
- 個性について話ができるということは、学校や周りの人とコミュニケーションがあり、そういう機会や環境がないとできないことだと思う。
- わが子の特性と思っていたことが、他の人から見れば非常識の場合もある。そのことを話せる親同士のコミュニケーションや、子どものクラス・先輩・後輩などのコミュニケーションが必要だと思う。
- 自分の良いところを他の人から認めてもらえたとき、子ども自身の成長につながると思う。

◎人権・同和教育「PTA活動」育成事業 講演会（平成28年9月22日ふれあいホールみせんにて実施）

講 師：大道芸人 たつきゅうさん

演 題：「大道芸人の経験から学ぶ子どもの夢との向き合い方」



～意見・感想・今後の取組について（抜粋）～

- （講演会の参加者が少なかったことについて）周知の方法や日程など、PTA 役員の中で協議をして進められればよかった。
- 来年度は、PTA 会員と学校の合同開催が望ましい。親子の共通認識を高めることによって、会話にもつながっていくと思う。
- 講師の方については、生徒が知っているスポーツ選手などが良いのではないか。
- 開催日は、鵬雲祭に合わせて開催するのが一番良いと思う。

◎今後の本事業の活動について

- 本事業の中間報告・次年度への活動提案についてはPTA 評議員会を経て、来年度のPTA 総会で報告する。

本年度の主な人権・同和教育「PTA活動」育成事業

- ①意識調査アンケート（6月）
- ②人権・同和教育「PTA活動」育成事業 講演会（9月）
- ③意識調査アンケート結果報告（PTA 広報「WISH」10月）
- ④振り返り意見交換（1月）
- ⑤振り返り意見交換 報告（PTA 広報「WISH」2月）

＼ 本年度の主なPTA事業 /

- 4月20日（水） 第1回PTA評議員会
- 5月7日（土） PTA総会
- 18日（水） 第1回合同委員会
- 7月15日（金） 第57回中国四国地区高P連香川大会
- 22日（金） PTA環境整備活動（飯南高校校地）
（参加者51名）
- 29日（金） 第2回PTA評議員会

- 8月9日（火） オープンキャンパスボランティア
（参加者5名）
- 25日（木）～26日（金） 第66回全国高P連千葉大会
- 31日（水）～9月2日（金） 安全下校パトロール
- 9月1日（木） 鵬雲祭（模擬店協力）（参加19名）
- 10月18日（火） 校内ロードレース・豚汁サービス
（参加14名）
- 12月7日（水） 学校見学会（島根県立東部技術校・
出雲医療看護専門学校 参加2名）
- 2月16日（木） 第3回PTA評議員会



第1回合同委員会



PTA環境整備活動



オープンキャンパスボランティア



鵬雲祭（模擬店協力）



鵬雲祭（体育祭）



鵬雲祭（体育祭）



校内ロードレース・豚汁サービス



校内ロードレース・豚汁サービス



校内ロードレース・調理の合間にレースを応援

ご協力ありがとうございました。

編集
後記

本年度「WISH」は、人権・同和教育「PTA活動」育成事業の取組を特集として、10月と今回の年2回の発行となりました。意識調査アンケートを始め、本年度のPTA活動におきましては、皆様にご多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。飯南高校を、子どもたち一人ひとりが輝く場所に。今後も飯南高校PTAは、全力で応援します。

編集：PTA 広報委員会